

ハリーン通信 Vol.24

不法投棄を許さない地域づくり

不法投棄防止地区の紹介
エコ手形を使いました

～三木市久留美地区～
不法投棄物撤去の様子

・・・P. 2

団体の取り組み

第8期兵庫県地球温暖化防止活動推進員委嘱状交付式及び
北播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会総会

・・・P. 3

県政150周年事業 はりまの里山フォーラム

環境学習の取り組み

三木市立豊地小学校 「増田ふるさと公園で環境学習」

・・・P. 4

^{キッズ}
Kids キャラバン「ひとはくはかせと生きもの探検」
たきの愛児園

・・・P. 5

寄稿

加東エコ隊の足あと 加東エコ隊 隊長 石田れい子 さん
渉外 近松 照芳 さん

・・・P. 6

お知らせ

PCB（ポリ塩化ビフェニル）を含む電気機器はありませんか？

・・・P. 7

市町の取り組みとお知らせ

加東市 “かとう自然がっこう 川の巻”
ハリーン通信がインターネットで見られます
ハリーン着ぐるみ貸出します

・・・P. 8

平成30年9月15日発行

兵庫県北播磨県民局 県民交流室 環境課

〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿1075-2

TEL: 0795-42-5111（内線341） FAX: 0795-42-7535

H P: http://web.pref.hyogo.jp/area/n_harima/index.html

ハリーン通信では、みなさんからの投稿、ご意見、ご感想をお待ちしています！
ぜひ、事務局までお寄せください！



不法投棄防止地区の紹介 ～三木市久留美地区



三木市久留美地区は北側に山陽自動車道が通り、南側には美嚢川が流れています。田園風景の中に農業用水に使うため池が点在し、県道や地区内にあるゴルフ場に繋がる道路が通っています。



この地区では、川の近くの竹やぶや、橋の下などに何度か廃家電類や建設廃材の不法投棄があり、その都度行政と協力して処分をしていました。

「久留美地区を5つの地区に分け、それぞれの地区ごとにため池の清掃や農道の草刈りなど、地域の美化に力を入れています。不法投棄があればすぐに連絡が入り対処しています。最近、道路の横の田んぼに傘、電池、ジャンパーなどの小さな不法投棄がたくさんあります。農作業中にペットボトルが飛んできたこともあります。道沿いに不法投棄防止の看板を並べたい程度です。」と岩崎区長のお話。



田畑の中に投げ入れられたごみを何度も取り除いてきた、ご苦労が感じられます。地区内の死角になる場所には不法投棄防止の看板を設置し、不法投棄防止活動推進員のみなさんが見回りを続けることで、大型の不法投棄の回数は減少しているようですが、捨てられた物の大小に関係なく不法投棄を無くさなければならぬと、あらためて認識しました。



~~~~~ エコ手形を活用し、不法投棄物の撤去作業を行いました ~~~~~



エコ手形とは廃棄物の処分業者や収集運搬業者等が不法投棄された廃棄物の撤去や運搬、処分等についてボランティアでできる内容を登録したものを言います。



平成30年3月5日、加東市黒谷地内の山林で、住民の皆さんと一般社団法人兵庫県産業廃棄物協会東播支部、大栄環境株式会社、株式会社カンキョウ、株式会社清水環境産業、行政が協働で不法投棄物の撤去を行いました。雨天の中 32 名で実施し、廃タイヤ、廃家電等の混合廃棄物 1 2 m³ を大栄環境株式会社の中間処理・最終処分場へ搬入し、処分しました。

廃棄物撤去後は、不法投棄防止ネットを設置するなど、再発防止の措置をとるとともに、地域住民のみなさんと行政が協力し、監視を行っています。



撤去前



撤去作業



積込作業



撤去完了



看板設置



第8期兵庫県地球温暖化防止活動推進員委嘱状交付式及び 北播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会総会



平成30年5月21日、兵庫県社総合庁舎において、第8期兵庫県地球温暖化防止活動推進員委嘱状交付式及び北播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会総会が開催されました。

7期からの継続者が17名、新規入会者5名の計22名。代表して、遠藤隆義氏に北播磨県民局県民交流室の森環境参事から委嘱状が交付されました。

次に、北播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会総会に移り、昨年の活動の反省から今年度の活動の内容が話し合われました。

担当の市町だけでなく、協力し合って各市町の環境イベントに参加し地球温暖化防止の啓発を行っていくことや、一般の方も参加できる公開講座を開催するなどが決まりました。



県政150周年事業 はりまの里山フォーラム

平成30年7月21日、次世代を担う中高生とその保護者を対象に、加西市の「あびき湿原保存会」の主催で「はりまの里山フォーラム」が開催されました。午前中は加西市南部公民館で、兵庫県立大名誉教授の服部保氏と加西ナチュラリストクラブ会長の尾内良三氏の講演がありました。服部氏は「里山は燃料や肥料を得るために人が作り出した樹林。里山林を持続させるための3原則は更新、輪伐、柴刈り。里山は放置するとなかなか元には戻らない。生物多様性、侵食防止、環境学習などの文化機能の3つを持った里山の重要性を認識し、里山作りを続けて行って欲しい。」と「里山の重要性と保全方法」について話しました。

また、尾内氏は、「水をたいせつにしよう」と題し、川や池を汚さない。雨水の再利用をしようと呼びかけました。



午後はあびき湿原に移動。ハッチョウトンボを見つけると、「わあ、すごく小さい。良く見ないと分からない!」「1円玉とかわらない」「これが成虫?」と驚いていました。とても貴重なトンボで、里山が無くなってしまうと永久に見る事は出来ないという説明があり、「えー!本当ですか?」という声が高中生から上がっていました。



あびき湿原保存会の方々、地元の方々がスタッフとしてたくさん参加されており、あびき湿原の保存を次世代に繋げたいという、熱い思いが伝わってきたフォーラムでした。

「増田ふるさと公園で環境学習」三木市立豊地小学校

三木市立豊地小学校3年生は、近くにある「増田ふるさと公園」で年間7回、環境学習授業をしています。学習成果は「増田ふるさと公園」で秋に開催される「さとやま祭り」で発表をする予定です。平成30年度の第1回環境学習授業に同行しました。

三木市立豊地小学校を出発。3年生4名とともに、まわりの自然を見ながら歩き、「増田ふるさと公園」にあっという間に到着しました。



「増田ふるさと公園」では三木自然愛好会の北村健理事長が子ども達を待っていてくれました。

最初は北村氏からのお話しです。「ここ20年ほど前までは増田ふるさと公園のまわり一帯、棚田があって美しい里山でした。大小の池もありました。秋の七草がここにすべてあり、虫もたくさんいて楽しい場所でした。しかし、まわりの田んぼの整備が始まり、この公園の場所も工事をしようという話になったとき、なんとかここの自然は残したいという声があがり、三木自然愛好会を立ち上げて保存することになりました。地元の方々の熱い思いでできた里山公園です。」との説明がありました。

さあ「増田ふるさと公園」の“生きもの観察”スタートです。



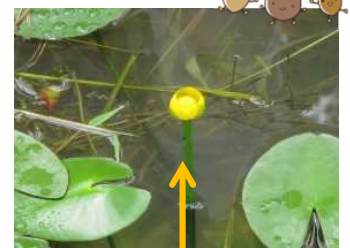
メダカがたくさんいます。小さいので集中して見えています。



ササユリ！種蒔きから開花まで4～5年かかります。



「クリの実の赤ちゃんですよ」



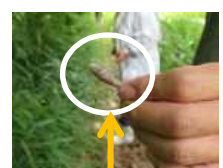
コウホネ！水生植物



サクランボ



ショウジョウトンボ



キセル貝

たくさんの“生きもの”を発見しました。4人とも、とても楽しそうでした。次回が楽しみです。里山は自然の学校です。



Kids^{キッズ} キャラバン ひとつはくはかせと生きもの探検

加東市 たきの愛児園



兵庫県では、自然体験を通して、いのちの大切さに気づいたり、資源を大切にするなど環境に配慮した生活習慣を育成することを目的に、乳幼児期の環境学習に取り組んでいます。



平成 30 年度は、兵庫県立人と自然の博物館と連携し、楽しい環境学習を行っています。それでは、たきの愛児園で開催された、「ひとつはくはかせと生きもの探検」の様子を紹介しましょう。



たきの愛児園は、加古川がそばを流れる、静かな住宅街の一角にあります。

かわいい門を開けると、野菜や果物のプランターが並び、キウイなどの木の果が出迎えてくれました。



今日、「ひとつはくはかせと生きもの探検」に参加するのは 5 歳児 30 名の元気な子ども達です。

始めに、兵庫県立人と自然の博物館の八木先生より、飛んでいる虫や止まっている虫を網で捕まえる方法や、手で虫を捕まえる時の注意点のお話がありました。

実際に先生が、専門の網で、飛んでいる虫を捕まえる動作を見せた時には「わー早い、横に振った」「すごい、虫と同じ高さや」「僕と捕まえ方違う」などの声が子ども達から聞こえました。

キリギリスやカマキリなど噛む虫は、手の上に置いて歩かせると噛まれないことなど、虫の動きや習性についてのお話もありました。



さあ、いよいよ園庭での虫捕りの始まりです。子ども達は一斉に走って行きました。



友達と出発



捕まえたかな？



木の中も探しています

木にとまっていたセミ、チョウチョ。なかなか捕まりませんが、みんなで追いかけてました。

子ども達も、先生もとても楽しそうでした。

虫捕りの後は、八木先生に捕まえた虫について教えてもらいました。ショウリョウバッタ、コオロギ、カメムシ、ダンゴムシ、ゴキブリ・・・このゴキブリは、家の中に入らない種類だとか。カメムシの臭いも種類によって違うなど、たくさん教えてもらいました。子ども達から質問もいっぱい。主に虫の食べ物についてでした。



この活動を通して子ども達は、毎日遊んでいる園庭にたくさんの虫（生き物）がいることに気づき、一緒に生きていると感じたと思います。「ひとつはくはかせと生きもの探検」が終わった後、捕まえた虫達をそっと園庭に戻す子ども達の姿がありました。心が和む環境学習でした。



加東エコ隊の足あと



【加東市を住みよい町！】

加東エコ隊 隊長 石田 れい子
渉外 近松 照芳

8年前、加東市でも「環境基本計画の策定」を目指し、一大プロジェクトが発足しました。市民や事業者の意見を反映するため、22名で構成された加東市環境市民会議は、延べ18回の会議を重ねながら基本計画が策定されました。



【地球環境は危機的状況】

地球は、息苦しい悲鳴をあげています。人類が蒸気機関車を発明して180年余り、産業革命以降、地球資源は驚くばかりのスピードで消費されていっています。地球起源から見ると、まばたきにも満たない瞬間に化石燃料の消費が急増しました。IPCC報告では、このままだと2081年～2100年には平均気温が最大4.8度も上昇すると警告しています。僅か100年先の話です。



【できる事から始めよう グリーンカーテン！】

市内でグリーンカーテンの栽培に協力いただく施設は、保育園、幼稚園、小学校、中学校、諸施設と年々協力施設が拡大し、現在、17施設まで増えました。秋には、グリーンカーテンフォトコンテストも実施しています。この子たちの将来に美しい地球を残してやりたいという願いを含めています。同時に、一般市民には「生ゴミの堆肥化」を働きかけ、今では、春秋フェスタで200個近いコンポストが出るようになり、市民のゴミに対する意識は間違いなく高まっています。



【かとう市民の集いへの挑戦】

さらに市民への啓発を図りたいと考え、隔年の実施で「かとう市民の集い」を開催しています。1回目は講演会と市民代表者によるパネルディスカッション。2回目は、市内小学校2校による環境学習の発表をし、保護者も含め市民約350人の参加を得ました。3回目を本年度1月に開催する予定で準備を進めています。



【子ども達に美しい地球・明るい未来を！！】



加東エコ隊の目指すところは、二酸化炭素を減らし温暖化を防いでいくことですが、同時に一人ひとりの心に自然の中で生かされていることに感謝し、他人を思いやる温かい心を育むことでもあります。昨年度から、子どもエコ隊も結成しました。今はまだ加入者が少なく実質6人ですが、これからの社会を背負う若い人達が引き継いでいってくれることを心から願っています。

お知らせ



PCB (ポリ塩化ビフェニル) を含む 電気機器はありませんか？



昭和 28 年から昭和 47 年までに製造された電気機器には、PCB という**人体に有害な物質**が使用されている可能性があります。

工場・事業所（廃業されたものも含む）に、高圧トランス等が納められているキュービクルや照明器具の安定器がないか、今一度ご確認ください！！

代表的な使用例

照明の安定器



PCB 含有安定器が使われている照明器具の例

昭和 52 年までに建築・改修された建物には、オフィス内照明・街路灯・駐車場照明等に PCB 含有安定器が使用された可能性があります。

蛍光灯器具
(オフィス・教室用等)



水銀灯器具
(高天井用・道路用)



低圧ナトリウム灯器具
(トンネル用)



高圧トランス



高圧コンデンサ



トランス、コンデンサは工場、ビル、学校等の高圧受電施設等で使用されています。(昭和 28 年頃から昭和 47 年までに製造された器具が該当)



* PCB 含有の有無の確認については、各機器のメーカーにお問い合わせください。



処分期間は法律で決められています。
使用・保管を続けると処理が出来なくなります！！

PCB 廃棄物の種類	処分期間	処理先
高濃度トランス・コンデンサ	平成 33 年 3 月まで	JESCO※1 大阪事業所
安定器及び汚染物等	平成 33 年 3 月まで	JESCO 北九州事業所
低濃度 PCB 廃棄物	平成 39 年 3 月まで	民間の無害化処理認定施設※2

※1 JESCO：中間貯蔵・環境安全事業株式会社

※2 無害化処理認定施設：環境省 HP に掲載 <http://www.env.go.jp/recycle/poly/facilities.html>

【処理申込（機器登録）先】

〒105-0014

住所 東京都港区芝 1 丁目 7 番 17 号（住友不動産芝ビル 3 号館 3 階）

宛先 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 PCB 処理営業部 管理課

TEL 03-5765-1935

URL: <http://www.jesconet.co.jp/>

《お問い合わせ先》北播磨県民局環境課 TEL 0795-42-5111 (内線) 342

“かとう自然がっこう 川の巻”

8月、加東市主催“かとう自然がっこう（川の巻）”が開催され、市内在住の小学生（48名）と保護者が参加しました。“環境に関心を持ち、自然環境を守る意識を持たせる”ことを目的に市内を流れる東条川で「水辺の生き物の捕獲と観察、川の水の水質検査」を体験しました。

注意を聞き、着替えのすんだ子ども達はさっそく川の中へ。生き物探しが始まりました。始めは見つけることが難しかった子ども達も、兵庫県立人と自然の博物館の三橋先生のアドバイスで、石の下や草の中にいる生き物をたくさん見つけることができました。

採取した生き物の名前や生態、川の水質と生き物の種類の関係を先生に教えてもらい、最後に簡易水質検査（パックテスト）で川の水質を調べました。東条川は、きれいな水が流れているという結果でした。

子どもと一緒に参加したお母さんは、「東条地区に住んでいて毎日東条川を見ていますが、今日のように川で遊べるとは思ってもみなかったです。

子どものころ、私も川で遊んでいたことを思い出しました。これからは子どもと東条川に来て、川遊びをしようかなと思っています。また、来年も参加します。」と楽しそうに話していました。

子ども達にとって夏休みの楽しい思い出になったことでしょう。



お知らせ

ハリーン通信がインターネットで見られます

平成17年の創刊号から、最新の24号までのハリーン通信をインターネットで見ることができます。ぜひ、ご利用ください。

- ①インターネットを立ち上げ、「北播磨県民いきいき情報」と入力し検索
- ②画面右側の分野別情報の『環境』のボタンをクリック
- ③『北はりまエコニュース ハリーン通信』の文字をクリック
- ④見たい号数を開ける！



ハリーン着ぐるみ貸出します

北播磨県民局の環境マスコット「ハリーン」の着ぐるみを北播磨の皆様の様々なイベントでご使用いただけます。

北播磨県民局県民交流室 環境課までお気軽にお問合せください。

（連絡先）北播磨県民局県民交流室 環境課

電話0795-42-5111（内線341） 受付時間：平日午前9時～午後5時

